



お話の学習指導案



教育目標

題名 ・ さんねんとうげ

年齢 ・ ようじ(3~5さい)

主題 ・ もくひょう：らっかんてきなしせいととんちで、しんどいじょうきょうもこくふくできることをかんがえてみる。
・ しゅだい：こうてい、とんち

キーワード ・ こうてい、とんち、とうげ、シルトック(シルトック：かんこくのむしたおもち)、いちび、いしころ、だんな、だいかんみんこくのとうげ

韓国文化 ・ もくひょう：だいかんみんこくのいちびといちばのぶんかについてしらべて、きょうみをもつ。
・ ようそ：いちび(みっかいち、いつかいち、なのかいち)、じょうせついちば

韓国語

- ・ もくひょう：びょうきにかかったときにつかうおとやこうどうをあらわすたんごをならう。
- ・ たんご：시름시름(よろよろ)、육신육신(ずきずき)、꾸꿍(くよくよ)
- ・ ひょうげん：
할아버지가 시름시름 앓아누웠어요.
(おじいさんがよろよろとねこんでしまいました。)
온몸이 육신육신 아팠어요.
(からだじゅうがずきずきといたかったです。)
마음을 꾸꿍 앓아요.(こころがくよくよする。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
“さんねんとうげ”です。

みなさん、むかしあるむらに、‘さんねんとうげ’がありました。そのとうげでころぶと、さんねんしかいきられないといって、つけられたなまえです。しかし、おじいさんがさんねんとうげでころんでしまいました。どうしましょうか？おじいさんはほんとうにさんねんしかいきられないのでしょうか？おはなしをきいて、おじいさんをたすけるほうほうをさがしてみましょう。



お話の始まりの歌を歌う

“さんねんとうげ”のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！

♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、あるいなかのむらに、おじいさんとおばあさんがふたりですんでいました。おじいさんとおばあさんはとてもなかよしでした。

おてんきがいい、あるひのことでした。おばあさんがおじいさんにいいました。

“おじいさん、きょうはとてもおいしいシルトクをたべたいね。”

“シルトクをたべたいのか？きょうはちょうどいちびだから、わたしがかってこよう。”

“きをつけていってきてください。とくに、さんねんとうげをこえるときは、きをつけてゆっくりとあるかないとだめですよ。”

このむらでは、ころぶとさんねんしかいきられないといわれる、さんねんとうげがありました。おばあさんは、おじいさんがいちばにいくたびに、いつもしんぱいしていました。さんねんとうげをこえなければいけなかったんですね。

いちばにいったおじいさんは、あれこれひつようなものをかいました。もちろん、おばあさんがたべたかったシルトクをいちばんさいしょにかいました。

“ほほ、こうしていたらシルトクがさめてしまう。はやくいえにかえらないとな。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

おじいさんは、おばあさんにあたたかいシルトクをあげたくて、いつもよりもいそいで、はやあるきでいきました。ところが、とてもあわてていたのですね。さんねんとうげで、いしのかどにひっかかって、ころんでしまったのですね。

“おや、まあ、これはどうしたことか!”

おじいさんはしばらくのあいだ、すわりこんでいました。ひがうすぐらくなつてきて、いえにかえりました。いえにかえってきたおじいさんは、なにもたべられませんでした。

“おじいさん、どうしたんですか?おかずがくちにあわないのですか?”

おばあさんがしんぱいしてきくと、おじいさんはなきそうになりながらいいました。

“じつは、いえにかえるとちゅうに、さんねんとうげでころんでしまったんだ。わたしは、あとさんねんしかいきられなくなってしまって、どうしたらいいのだろうか?ううう…”

“え、ほんとうなんですか?”

そのことばをきいたおばあさんは、びょうきにかかってしまいました。おじいさんもげんきがなくなってしまって、おばあさんのようによろよろとねこんでしまいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

おじいさんがさんねんとうげでころんだといううわさは、すぐにむらじゅうにひろがりました。

“おじいさんがかわいそうで、どうしたらいいのか？”

“ひとりでのこるおばあさんはどうなるんだ？”

むらのひとびとも、じぶんのことのようにかなしみました。

そんなあるひ、よこのいえにすんでいるこどもがたずねてきました。

“おじいさん、いらっしゃいますか？”

おじいさんがやっとへやのドアをあけてそとをみると、よこのいえのこどもが、おかゆをもってたっていました。

“おじいさん、ちょうしはどうですか？おかあさんが、このおかゆをすこしたべてほしいといっています。”

“おや、まあ、ありがとう。”

おじいさんはちからなく、こたえました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“おじいさん、そんなにしんぱいなさらないでください。さんねんとうげでころんでも、ながいきできますよ。”

“なんだと？ながくいられるとは、どういうことだ？”

おじいさんはとてもおどろいてたずねました。

“とりあえず、いますぐさんねんとうげにいかれて、もういちどころんでみてください。”

“なんだと？こいつはわたしをからかっているのか？もういちどころべとは！”

おじいさんはあたまのてっぺんまでちがのぼって、どなりました。

“おじいさん、おこらないで、わたしのはなしをさいごまできいてください。さんねんとうげでいちどころぶと、さんねんしかいきれないでしょう？”

“そうだ。”

“そしたら、にかいころべば、ろくねん、さんかいころべば、きゅうねん、いきられるじゃないですか。”

こどものはなしをきいてよくかんがえてみると、たしかにすじがとおっているようでした。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“あ、そうか! どうしてそれに気づかなかったのか?”

おじいさんはよろこんで、さんねんとうげにはしっていきました。

“じゃあ、もういちどころんでろくねんいきで、またもういちどころんで、きゅうねんいきよう!”

おじいさんはにかいもころびました。

“おや、まあ。いいなあ。もういちどころばないとな。これでじゅうにねん!”
きぶんがよくなったおじいさんは、さんねんとうげでなんかいもころびました。

“おや、まあ。もうにじゅっかいいじょうころんだから、これからなんじゅうねんもながいきできるな。ははは。”

おじいさんはさんねんとうげでなんかいもころんで、おおわらいしました。そのすがたをみたむらのひとびとも、さんねんとうげをこえるたびに、わざところびました。そのあとから、さんねんとうげはじぶんのじゅみょうよりも、もうさんねんいきることができるというふうになったそうです。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？おじいさんがさんねんとうげでころんだあと、おじいさんとおばあさんはどうになりましたか？

はい、ふたりともびょうきにかかりましたね。おじいさんはとうげでころんでしまって、からだじゅうが‘ずきずき(ウクシンウクシン)’ いたかったです。おばあさんは、おじいさんがもうさんねんしかいきられないとおもって、ころが‘くよくよ(クンクン)’とやんでしまいました。けっきょく、おじいさんとおばあさんはびょうきにかかってしまい、‘よろよろと(シレムシレム)’とねこんでしまいました。びょうきにかかったり、しんぱいでたまらないとき、‘ウクシンウクシン(ずきずき)’, ‘クンクン(くよくよ)’, ‘シルムシルム(よろよろと)’というひょうげんをつかいます。

おばあさんはシルトクがたべたいといいました。それで、おじいさんがシルトクをかいに、どこにいきましたか？

はい、そうですね。いちばにいきました。むかしはマートやコンビニがなかったので、ひとびとがいちばにあつまってものをかったり、うったりしました。いちばがひらかれるひは、いちびといいます。いちばは、みっかごと、いつかごとそして、なのかごとにひらかれたりします。ひとがおおくあつまるばしょでは、いつでもりようできるじょうせついちばがありました。おじいさんもいちばにいて、あれこれひつようなものをかい、おばあさんがおねがいしたシルトクもかいました。みなさんもいちばにいて、ものをかったことがありますか？だいかんみんこくのいちびといちばのぶんかにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、“さんねんとうげ”のおはなしをいちどまとめてみましょうか？

さんねんとうげでこけたおじいさんが、さんねんしかいきれないとおもって、おじいさんとおばあさんはびょうきにかかりました。しかし、よこのいえのこどもがたずねてきて、さんねんとうげでにかいころべばろくねん、さんかいころべばきゅうねんいきられるとおしえてくれました。それで、おじいさんはさんねんとうげにいて、なんかいもころびました。とんちがあるよこのいえのこどもとらっかんてきなおじいさんのおかげで、さんねんとうげはころぶとながいきできるとうげというふうになったそうです。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

🎵 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！